

スライド・OHP シート作成基準

不鮮明な図画などは、講演者の意図が十分聴講者に伝わりません。
スライドおよび OHP は読ませるものではなく、見せるものです。

鮮明な画面→発表効果抜群

講演時に使用されるスライドや OHP で文字が小さすぎたり、図が不鮮明で見にくいものなどが数多く見受けられます。講演内容を聴講者に理解してもらううえでスライドや OHP を鮮明にして講演の効果を十分に挙げていただくよう希望いたします。スライドや OHP シートの作成に当たっては下記にご留意下さるようお願いいたします。

- 講演会場におけるスライドや OHP は 180×180 cm 大のスクリーンに映写するので、画面が鮮明に読みとれるよう作成して下さい。
- スライドの大きさは 35 mm 版、OHP シートは A4 判とし、次表を参考にして下さい。OHP の場合は A5 判で原図の作成をし、拡大することが望ましいです。

1) 図

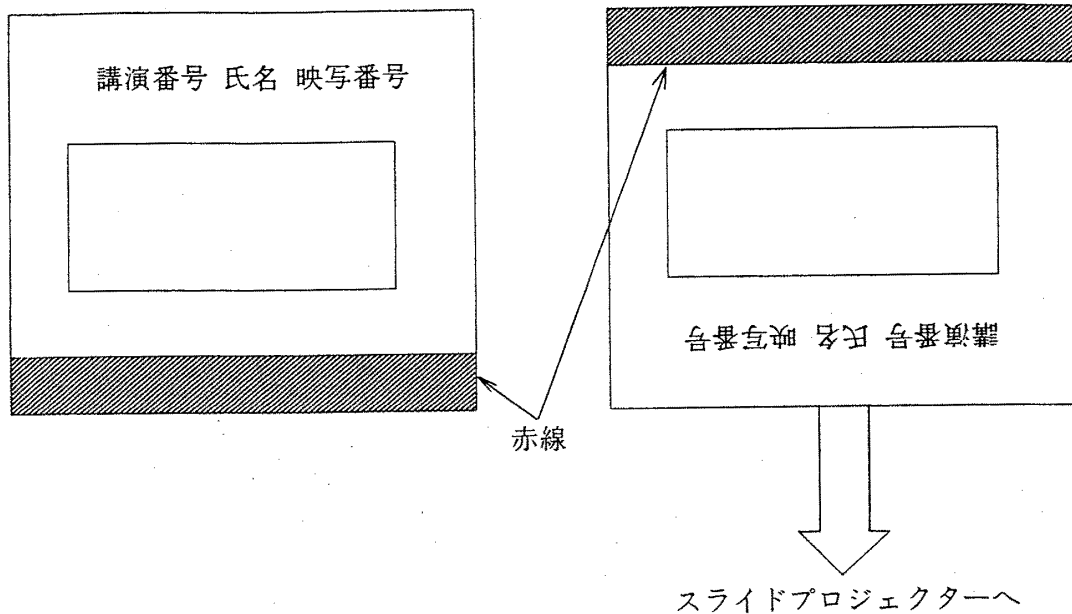
文字・線		原図の大きさ	A 5 判 (約 210×148 mm)
文字	漢字 数字・ローマ字・記号	字	5～7 mm 角 (活字 3 号 16 ボ程度) 4～6 mm (4 号 12 ボ程度)
線	太 細	線 線	約 1.0 mm 幅 0.4～0.6 mm 幅

(注) 文字は明朝体よりゴシック体のほうが見やすい

2) 表 (数字・ローマ字・記号など) 原図:A5判

横 表	使用される文字の大きさの 1/2 幅の行間 →12行以下
縦 表	使用される文字の大きさの 1/2 幅の行間 →18行以下

- 図の題目は簡潔にして下さい。
- 数表はできるだけ図化して下さい。
- 複雑な内容のスライド・OHP シートは 1 枚より簡単な 2～3 枚に分けて下さい。
- 数式は 1 枚のスライド・OHP シートに 4 式程度にして下さい。
- スライドには講演番号、講演者名、映写順序を明記して下さい。
- スライド・OHP シートの枚数は 1 講演時間 15 分とした場合、10 枚程度が適当です。
- スライドには映写者がすぐわかるように次のように赤線を記入して下さい。
- OHP のステージは 260 mm 四方です。



講演者へのお願い

1. 講演者の変更は事前に日本鉄鋼協会編集・業務室へご連絡下さい。(TEL 03-3279-6021)
なお、代講者は共同研究者の中より会員の方に限ります。
2. 講演者は自分の講演時間帯の 20 分前までに該当講演会場の受付に備えております講演者到着届に必要な事項をご記入のうえ、講演受付係にお渡し下さい。
3. 到着届提出時に、講演に使用するスライドを講演者自身で受付にあるトレーに入れ会場係にお渡し下さい。スライドには講演番号、氏名、順番番号をご記入願います。
講演中「スライド送り」は講演者自身で演台上にあります「スライド操作ボタン」で、また OHP のシートの取り替えも併せてお願いします。講演終了後スライドは必ずお持ち帰り下さい。
なお、忘れ物の返却はいたしかねますので、ご了承下さい。
4. 講演時間は原則として下記のとおりです。
講演時間 15 分 (時間厳守) 質疑 5 分
5. 時間の合図はタイマーで下記のごとくいたします。
第 1 鈴 講演開始から 5 分
第 2 鈴 講演開始から 10 分
第 3 鈴 講演開始から 15 分 (講演終了)
6. 後方の聴講者にもよく聞こえるようご講演の際は十分ご留意下さるようお願いいたします。
7. 講演時における図・表・写真の説明には OHP (A4 判) またはスライド (35 mm 版) と限定いたします。掛図は、設備不十分のためご遠慮願います。
作成は別記作成要領に従って下さい。